

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	1 協働の仕組みの構築	1 参画・協働	1.1	8.1	2.6	0.1	◎参画・協働 ・まちづくり協議会設立へ力をさらに集中するべき。自治会とまち協との関係(役割分担)を明確に ・〇まちづくり協議会設立に向け、本町地区設立準備会が発足(R7.6) ●タウンミーティングがR2.10から開催されていない ・「参画」なくして「協働」なしと考える。「まちづくり協議会」設立のための準備活動を契機として「参画」という意識づけができればと考える ・行政の様々な取組に住民が頼りきっていないだろうか。行政が動いて当たり前ではない ・協働によるまちづくりにおける地域活動に参加する人や自治会加入率は課題であり低下しているが、「まちづくり協議会」に期待したい。その他は概ね良好 ・自治会加入率と、世帯数、世帯人数推移など少し詳細な分析が必要と考えます(人口比率も分析要)。まちづくり協議会設立のための補助KPIを考える必要は無いでしょうか。進んでいるのかどうかが見えにくいと感じます ・魅力ある又はジュニアクラスが楽しめる様なことを企画すれば必然と人は集まるのではないか。地域活動参加割合が低いのは、高齢者ばかりでこれでは減少が続くと考えられる ◎広報広聴・情報公開 ・デジタル関連は、内容を充実させる必要がある。オープンデータは施設情報以外も盛り込みたい ・〇シティプロモーション(町制100周特設サイト、出産・子育て特設ページの開設) ●広報(HPイベントカレンダー)のルール必要(6ヶ月前から新着情報に掲載される一方、秋の行事が掲載されていない) 〇町民が主体的にまちの魅力PRに携わる「まちの宣伝隊」 ・オープンデータについては、そのニーズが見えているか、利用者目線に立っているか(誰が、どのような…)。「行政の透明度に関する満足度」が透明性指標には結び付きにくい。アンケートを基準というのも根拠が薄い。件数目標がいいのではないか ◎人権 ・参加者の心に響く研修内容が必要。「たてまえ」だけの話では訴求力はない。大いに改善が必要 ・人権学習懇談会を地区別懇談会形式から出前講座形式に変更したことにより改善傾向にあり、今後に期待。差別をなくす町民集会の参加人数が年々減ってきているため幅広い広報が必要 ◎男女共同参画 ・努力は認めるが、「デジタル」以外に方策はないのか。各種研修を受けた後の出口(就業、起業)支援が必要 ・〇IT講座「女性デジタル人材育成事業」人気 〇「まっち☆ジョブ王寺」女性就業件数の着実な伸び ・女性が参画しやすい分野の数値が良い。基本目標5の子どもの教育でも女性(母親)の活躍の場が多い ・男女共同参画のための事業があるが、成果(就業、起業など)をみる(補助)KPIが必要ではないか ◎行政サービスの提供 ・DX推進に伴い、アプリケーション数や利用者数が伸びているので、よりターゲットを明確にした展開を図る施策が必要(具体的施策が出てくれば、仕組みは検討できる) ◎行政経営 ・行財政経営に対する満足度は相当に低い。行政に対する信頼度を反映しているのではないか ・第3期総合戦略の効果検証にあたり、社会状況による変化に伴う数値目標未達項目が多くあり、目標の見直し(修正)時期ではないでしょうか ◎広域連携 ・〇奈良県広域水道企業団設立(R6.11)も実績の1つ ◎全体・その他 ・「女性デジタル人材の育成事業」や「まちづくり協議会」設立に向けての活動は、効果が得られているのではないかと思います。ただ、義務教育学校通学路の「見守りボランティア」がいいにも低学年のプール見守りや家庭科支援、英語、書道、スポーツテスト、学校の掃除など、活発に活動されていることが見落とされているように思いました
		2 広報広聴・情報公開					
	2 お互いを尊重するまちづくり	3 人権					
		4 男女共同参画					
	3 健全で効率的な行財政運営	5 行政サービスの提供					
		6 行政経営					
		7 広域連携					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
2 快適で暮らしやすいまちづくり	4 都市基盤の充実	8 土地利用	0	7.6	4	0.4	◎土地利用 ・王寺町の特性を活かした、駅前の高度都市機能集積の計画を慎重に見直す必要があるか要検討
		9 住宅環境					◎住宅環境 ・耐震化をより推進する必要がある ・○空家法の改正(R5.12施行)に伴う町の取組が着実に進められている。▲空家除却後の更地に係る固定資産税等の減免措置は除却促進効果があり、税条例の早期改正を願う ・戸建て空家の数は、地道な行政指導の成果だと思う
		10 上下水道					◎上下水道 ・下水道管の経年劣化を把握する必要がある ・▲奈良県広域水道企業団設立の目的の1つは施設の老朽化対策・耐震化等による強靱化であるが計画通り実施されるか不安
	5 交通ネットワークの整備	11 道路					◎道路 ・町が対応しうる生活道路を中心に整備していく。広域道路に関しては、安全性の確保と渋滞防止が重要 ・(国道168号、国道25号)道路整備が基本と考える。本町1丁目交差点の渋滞
		12 公共交通					◎公共交通 ・既存の公共交通(特にバス)以外の手段も複合的に考えていく必要がある(コミュニティバス、自転車利用、福祉施設等への自動運転) ・▲進捗状況のコメントよく分かる【負のスパイラル】(公共交通利用者減→運行便数の削減や路線の廃止、又は運賃の値上げ→更なる利用者離れを招く) ・高齢者が増えているのにバスの減便による出かけにくい。文化福祉センター、いずみスクエア等には行きにくい。近年、猛暑と言われている中、7月のクリーンキャンペーンはやめた方がいいのでは？ ・公共交通の整備に関する満足度の目標値60%、バス停・路線の指標は、見直しが必達か検討 ・公共交通に関しては、住民は不便を感じている ・公共交通の満足度について、確かに減便で困っている方も多いと思います。また、停留所の上屋がないところもあるし、小さすぎて雨天時の対策ができないところもある
	6 環境への配慮	13 環境保全					◎環境保全、循環型社会 ・環境意識の向上だけでなく、総合的な施策(システム化)(ゴミ、水質)が必要 ・○可燃ごみ排出量の減少 ○美濃園の新ごみ焼却施設の完成・稼働(R6.9) ・CCC活動については、雨天予報で前日に中止になったりして、地域では「やる気がないのか」という声もチラホラ聞かれる。雨天時は、延期すると目標に近づくのでは
		14 循環型社会					◎都市景観 ・幹線道路沿道の景観(看板、建物外観、放置物)等の線的、面的改善が必要 ・●大和川護岸に雑木が繁茂している
	7 水と緑の保全と創出	15 都市景観					◎全体・その他 ・道路や公園施設などの故障連絡など住民参加(住民との協働)を進めるDX推進施策が必要。「誤報が増える」とか、「即時対応には要員不足」などに対応する仕組み・手順を検討する事が必要(他に多く事例あり)。自治会を通じて連絡と言う形式でも画像を収集しAIの活用も考えられる ・全体的には指標なりに成果は上げていると考えられる

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	8 地域防災の充実	16 防災体制	1	7.8	3	0.3	◎防災体制、避難行動支援 ・防災情報を伝えることも大事だが、地域で防災対応の行動が伴わないと何にもならない(自主防災組織等の重要性)。地区防災計画策定に努めるべき。避難所運営も住民の力を借りて行う必要がある。これには、地域自治協議会が有効と思われる ・OR7避難所の環境整備(スフィア基準に基づき簡易ベッド、テント型パーテーション、格納する防災倉庫などを整備、トイレの洋式化) ●避難所運営体制の確立(各避難所運営委員会(仮称)の設置) ○防災・減災広報の充実(R5～毎年特集記事を掲載) ▲大和川流域の総合治水対策(例:R7.5保田遊水地の完成等)の進捗も広報掲載望む。 OR7「個別避難計画」の策定(災害リスクが高い地域や医療的ケアが必要などの優先度が高い対象者を抽出し、ケアマネジャーなどにを委託して進める) ・数値目標「防災訓練を実施している自主防災組織の数」54団体について再検討 ・災害時の避難所にDXの仕組みを活用出来ないか。その進捗等のKPIが設定できるのでは(100%でなくても手間の削減になる)。避難所でのデジタルツール利用システム数のを指標に加えてはどうか ・個別避難計画に関しては、どう見ても支援が必要だと思われる方でも、本人が支援を拒否される場合が多い ・防災士ネットワーク加入者の増加、安全安心メールの登録者数が増えているのも評価したいです ◎防犯・交通安全 ・●「老人・こども110番の家」の旗が未更新の家が散見される。 ▲特殊詐欺対策・SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止に向けた啓発強化 ◎全体・その他 ・グラフに動きが見られるのは、様々な取組に住民が何かしらの反応をしていると受け取れる。これからの期待できる
		17 避難行動支援					
		18 消防・救急体制					
	9 日常生活の安全確保	19 防犯・交通安全					
4 健やかに暮らせるまちづくり	10 高齢者支援の充実	20 高齢者福祉	3	6.7	2.3	0	◎高齢者福祉、介護保険 ・認知症カフェなど、地域で見守る体制を検討する。要支援者の居場所が必要 ・▲R7町内の移動手段の確保について検討(公共交通の現状と今後のあり方について庁内プロジェクトチームを編成し調査、研究) ○高齢者を対象とした体操教室など効果的な介護予防サービスを実施 ・高齢者、障がい者支援に関しては、成果が出ている ・認知症カフェやサロンに専門職を派遣、高齢者の体操教室を増やされたのも良いが、目標達成のため、バス停にチラシを貼るなど、もっとアピールが必要かと思う ◎障がい者福祉 ・相談をしたあとの筋道が重要 ・▲地域生活支援拠点や児童発達支援センター設置の見込みは ○コミュニケーションカードを作成(R7.1) ▲各種サービスの需要に対する必要量は確保できているのか ◎健康づくり ・簡単な運動はしている人は多いが、他方ガン検診の比率は低い(地域での取り組み=地域自治協議会に可能性がある) ・健康づくりの推進(がん検診の受診率)で成果があらわれていない原因は？ ・健康寿命が全国平均に対してどのレベルにあるのかが知りたい。他団体との比較より、目標歳のほうが、励みになる。分析することで、ターゲットや広報内容、活動も考えられるのではないか ◎地域福祉 ・サロン参加者を各種ボランティアにつなぐ ・●町内ボランティア団体の一覧が町HPから検索できない ・若い人のボランティア参加者が減っているため活動している人が高齢化している。今後ますます増える高齢者支援の充実が必要であると思う。サロンやすらぎの参加人数は少しずつではあるが増えており定着している。回数をもっと増やしてほしいとの声もあります ◎全体・その他 ・成果の進捗状況も良く、数値目標も妥当であると考えられる
		21 介護保険					
	11 障がい者支援の充実	22 障がい者福祉					
	12 健康づくりの推進	23 健康づくり					
	13 地域で支え合うまちづくり	24 地域福祉					
		25 国民健康保険					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	14 子ども・子育て支援の充実	26 子育て支援	2	8.2	1.7	0.1	◎子育て支援、母子保健 ・子育てに関する相談・対応システムを官民で作る(NPO等の参画等) ・〇こども家庭センターを保健センターに開設(R6.4)→▲指標「相談できる人・場所」改善されたのでは？ ●ファミリーサポート利用者数減少→ニーズに即したサポートが出来るよう見直し必要では？ 〇王寺町で子育てをしたい割合高い ・R6年こども家庭センター開設。広報、HPによりその認知を推進する ・相談できる人や場所がない保護者の増加を阻止できる具体的な支援策はないのか？共働きの増加による子どもへの生活リズムの影響もアピールできれば ◎保育環境 ・女性の就労(具体的施策4と連動させる必要あり) ・〇民間認定こども園開設(R7.4)→待機児童数減 ◎就学前教育 ・〇この幼稚園に通わせてよかった保護者の割合高い ◎学校教育 ・〇学力・体力等調査の数値高い ●コミュニティ・スクールの検討が進んでいない ◎生涯学習 ・生涯学習推進計画が必要ではないか。教育振興ビジョンはあるが、生涯学習については薄い ・生涯学習の充実のための対策は、何か考えられないか？ ◎青少年健全育成 ・参加プログラムの改善の検討 ・●地域行事へ参加している生徒の割合低い→質問理解していない？(ミルキーも地域行事) ・6年生、9年生の地域行事への参加率が低いのは、何かおもしろいこと、子どもが興味がある、やってみたくなること等、企画を考えなければ毎年数値は低下すると思われる。今までにどんな行事の参加率が多かったか一度振り返りも必要 ◎文化財 ・ボランティアガイド数に対して実際のニーズが見えない ・〇明神山(送迎山)が登録記念物(名勝地関係)に登録(R7.3) D51形蒸気機関車を町指定文化財に指定(R6.3) ◎文化・芸術活動 ・文化芸術活動の支援策を再検討する必要があるのでは。「文化振興計画」策定など。生涯学習と連携して(直田) ・〇音楽のあるまちづくり団体加入者数の増加 ◎スポーツ・レクリエーション ・町民の求める「スポーツのカタチ」を探る必要がある ◎全体・その他 ・子ども子育て、学校教育の充実は、かなりの成果が表れている ・子育て世代が行政とのつながりが多く、その機会を利用して情報発信 & 啓蒙活動が有功。この項目は、若い働き手の移住・定住の大きなポイントになるので期待が大きい ・合計特殊出生率の目標値2.1について再検討 ・王寺町で子育てしたい比率が高いにも関わらず、合計特殊出生率が、低下したのはなぜかを分析する必要があるが、全国レベルの傾向で王寺町独自では困難かもしれないが、いろいろなデータからの仮説検証して新たな指標を設定したらどうか。他の都市では、伸びている例もあるようなので、分析してみる価値はあると考えられる ・目標達成に向けて具体的な取組はないのかと思いました
		27 母子保健					
		28 保育環境					
	15 学校教育の充実	29 就学前教育					
		30 学校教育					
	16 生涯学習の充実	31 生涯学習					
		32 青少年健全育成					
	17 歴史文化 ・スポーツ活動の振興	33 文化財					
		34 文化・芸術活動					
		35 スポーツ・レクリエーション					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	18 活力の創出	36 産業・雇用	1	6.3	4.3	0.3	◎産業・雇用 ・外部からの集客より、「日常圏」の利用に係る店舗等が必要。また、新しい店舗の出店の支援も重要 ・▲町内の事業者数・従業員数R3コロナ禍により減少したがR8センサス数値どうなるか？ ○特産品の創出(王寺町産オリーブオイルが国際オリーブオイルコンテストで「金賞」「銀賞」) ・王寺駅を中心とした賑わいの創出は進んでいると思う。この集客力を活用しながら、さらに歴史資源を生かしたまちづくりを推進することが重要ではないだろうか ・町内の事業所数については、事業承継に関する支援体制など協力していきたい ◎定住促進 ・定住意向の本丸は「交通の便」と「居住(住宅)環境」。ここのかさ上げが重要。あと、住民ネットワーキング(住民自治・地域自治)のソフト面 ・●社会減(転入者数ー転出者数)の分析は？ ・住民としては「住み良い町」ランキング上位は誇らしいこと。実際に数値だけではない「良さ」があります←外に向けてのアピールの重要性 ・住みやすい街のトップクラスにありながら、関西においてもその知名度は高くないのではないかと。他地域調査などその原因を探るなどの分析し、評価指標に加えるなどの検討をしてもいいのではないのでしょうか。全体を通じて、数値の更なる分析が求められている。単に、「伸びた」とか「下回った」などにとどまらず、AIなどをうまく活用して分析し、施策検討を図る事が必要 ・三世代ファミリー定住支援補助金は良いと思います。定住促進に期待したいです ◎観光・交流 ・観光は自前主義ではなく、広域(西和地域→奈良県)で考えるべき。町内の観光資源を発掘するより、圏域の観光資源へのアクセスのハブとなるという考えもある。そのためには、王寺町(特に駅周辺)の魅力向上が重要 ・▲東横イン年間平均稼働率67%→R6.2後期基本計画にはコロナ禍でも90%とあったが？ ○観光入込者数たくさんのイベント開催により大きく増加している
		37 定住促進					
	19 交流の促進	38 観光・交流					

○評価の視点:効果を得ることができているか。 長期的な効果が見込めるか。 事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。